

認定権者記載欄

様式第5-(イ)-⑨

中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定による認定申請書(イ-⑨)

年 月 日

ひたちなか市長 殿

申請者 事業所所在地 _____
 事業所名 _____
 代表者名 _____

私は、表に記載する業を営んでいるが、下記のとおり、(注2)が生じているため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定に基づき認定されるようお願いいたします。

(表)

※表には、指定業種であって、売上高等の減少が生じている事業が属する業種(日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名)を記載。当該指定業種が複数ある場合には、その中で、最近1年間で最も売上高等が大きい事業が属する指定業種を左上の太枠に記載。

記

売上高等

(1) 最近3か月間の企業全体の売上高等の平均に対する、上記の表に記載した指定業種(以下同じ。)に属する事業の最近1か月間の売上高等の減少額等の割合

$$\frac{C-A}{(D+E) \div 3} \times 100 \quad \text{割合} \quad \%$$

A: 申込時点における最近1か月間の指定業種に属する事業の売上高等 _____ 円

B: Aの期間前2か月の指定業種に属する事業の売上高等 _____ 円

C: 最近3か月間の指定業種に属する事業の売上高等の平均 _____ 円

$$\frac{A+B}{3}$$

D: Aの期間に対応する企業全体の売上高等 _____ 円

E: Bの期間に対応する企業全体の売上高等 _____ 円

(2) 企業全体の売上高等の減少率

$$\frac{F-D}{F} \times 100 \quad \text{減少率} \quad \%$$

F: 最近3か月間の企業全体の売上高等の平均 _____ 円

$$\frac{D+E}{3}$$

(注1) 本様式は、業歴3か月以上1年3か月未満の場合で、指定業種に属する事業の売上高等の減少が申請者全体の売上高等に相当程度の影響を与えていることによって、申請者全体の売上高等が認定基準を満たす場合に使用する。

(注2) 「販売数量の減少」又は「売上高の減少」等を入れる。

(留意事項)

① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。

② 市町村長又は特別区長から認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

A _____ 令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

茨城県ひたちなか市長

大谷 明

(注) 本認定書の有効期間: 令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日から令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日まで

売上明細表

(中小企業信用保険法第2条第5項第5号(イ-⑨)関係)

1. 経営の安定に支障が生じている状況

(表1: 売上が減少している指定業種の売上高)

当社の売上が減少している事業が属する業種は

業, 業, 業(※1)

業種(※2)	最近1年間の売上高	構成比
業	円	%
業	円	%
業	円	%
業	円	%
全体の売上高	円	100%

※1: 最近1年間の売上高が最大の業種名(主たる業種)を記載。主たる業種は指定業種であることが必要。

※2: 業種欄には、日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名を記載。

表2: 最近3か月の主たる業種の売上高と企業全体の売上高

区分	最近3か月の指定業種に属する事業売上高		最近3か月の企業全体の売上高	
月	A	円	D	円
月	B	円	E	円
月		円		円

表3: 最近3か月間の指定業種に属する事業と企業全体の売上高等の平均

最近3か月間の指定業種に属する事業の売上高等の平均		最近3か月間の企業全体の売上高等の平均	
C	$\frac{A+B}{3} =$ 円	F	$\frac{D+E}{3} =$ 円

(1) 最近3か月間の企業全体の売上高等の平均に対する、指定業種に属する事業の最近1ヶ月間の売上高の減少額等の割合

$$\frac{C-A}{(D+E)/3} \times 100 = \quad \%$$

(2) 企業全体の売上高の減少率

$$\frac{F-D}{F} \times 100 = \quad \%$$

上記のとおり相違ありません。

令和 年 月 日

事業所所在地

事業所名

代表者名

印